

磯子区民文化センター 杉田劇場 平成 23 年度事業計画書

1 基本方針

(1) 基本的な方針

いそごの文化がまちを育むー磯子の地域力・区民力を活かし、文化力で地域や人をつないで、住み続けたくなるまちづくりに貢献する区民文化センター」という第 2 期指定管理期間のコンセプトに基づき、第 1 期指定管理期間築いた地域・区民とのつながりをさらに強いものとし、区民とともに循環型運営「つどう」「そだつ」「ささえる」「つながる」「ひろがる」施設運営を目指します。

第 2 期指定管理 2 年目は、「公益財団法人横浜市芸術文化振興財団」、「有限会社アイコニクス」、「株式会社東急コミュニティー」3 社共同事業体間の連携をさらに深めるとともに、「杉劇こんしえるじゅ」、「地域文化コーディネーター」という杉田劇場の顔となるスタッフによって、よりよい施設運営を行っていきます。さらに、「杉田劇場と歩む区民の会」との連携を進め、地域・区民とのつながりをいっそう深め、区民が主体的に活躍していけるような循環型運営への仕組みづくりを重点的に行います。

(2) 平成 23 年度の位置づけ

【事業の方針】

参加・鑑賞する自主事業によって、区民が創造活動や文化活動をするきっかけをつくり、主体的に活動を始めた区民の貸館利用を支援することで、区民の自主的な活動を広めます。

第 2 期指定管理 2 年目は、「つどう～そだつ」から「そだつ～ささえる」へ重点を移し、地域コミュニティーや地域の文化活動の支援などを通じ、人材育成活動、地域活動・芸術文化支援のほか、3 年目以降に向けたネットワーク形成事業を重点的に行うことで、区民とともに歩む地域の文化拠点としてよりいっそう機能していくことを目指します。

【運営の方針】

受付業務を行う「杉劇こんしえるじゅ」、地域と施設をつなぐ「地域文化コーディネーター」が中心となり、利用者・地域ニーズを反映し、アドバイスを含めた区民をもてなす貸館対応と、利用者が安全で安心、利用しやすい施設運営に努めます。

さらに、学校連携や地域企業・団体と連携し、新たな利用者を増やす利用促進活動を拡充します。

【管理の方針】

開館 7 年目を越えた建物の修繕・保守を徹底し、利用者が安心して利用できる施設管理と長寿命できる施設管理に努めます。

災害や緊急時にスムーズに対応できるよう、館内組織だけでなく、地域と連携した危機管理体制を強化し、施設の管理面においても地域の人々とのつながりを強化していきます。

スタッフや来館者の省エネや環境コスト削減への意識をより高め、環境に配慮した施設管理を促進します。

2 自主事業に関する事業計画

(1) こどもからお年寄りまで区民が集う拠点づくり

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● ひよこコンサート、「ロビーパフォーマンス」、「フレンドシップコンサート」など、幅広い世代を対象に、新たな観客や人材を積極的に呼び込む仕組みづくりをします。 ● 「杉劇リコーダーズ」、「開館 7 周年記念事業」を始めとし、こどもからお年寄りまで幅広い世代を対象に参加型「事業を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て世代やこども世代を対象とした事業を年間 8 回以上実施。 ■ 参加型事業の区民参加人数 450 人以上(昨年度目標 400 人)。

(2) 人材育成事業

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● 「杉劇@助っ人隊」など、参加者から主体的に活動を行う地域の担い手へと段階を経た人材育成事業を運営します。「地域文化コーディネーター」がファシリテーターとなり区民が次の段階へとステップアップするように常に意識しながら、人材育成事業を運営します。 ● 杉劇に集まるこどもたちとの対話を大事にし、こどもたちの自主的な活動を育て、こどもたち目線での施設運営や事業に活かしていきます。 ● 地域での仕事や、アートマネジメントに対する理解を深められるよう、小・中学校、高校、大学から一般の方まで、積極的にインターンや職業体験を受け入れます。また、「舞台技術ワークショップ」なども行い、施設運営全般における人材の育成も進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民との協働事業、区民が提案し企画運営を行う事業を年間 5 回以上実施します。 ■ こどもたちの発案による自主的活動を年間 3 回以上開催。 ■ 区内の小中学校の職業体験と大学生インターンシップ受け入れ人数 10 名以上。 ■ 地域のアーティストをデータベース化し、地域での活動への紹介や派遣を行うなど、アーティストの活動を支援します。

(3) 地域活動・芸術文化の支援

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● アウトリーチ事業「杉劇たまたま箱」や職員の専門性を生かした、地域の芸術文化相談・サポート事業「文化 de おじやまし隊」により、地域へ出て行き、ニーズにあった事業実施や、コーディネートを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の活動支援、地域の文化資源を活かした施設外でのアウトリーチ事業を年間 5 回以上実施。

<ul style="list-style-type: none"> ● 過去に「いそご文化資源発掘隊」で発掘された寺院、商店街など地域の文化資源を自主事業やアウトリーチ事業に活用できるよう整理・調整します。 ● 「イメージ ISOGO」など地域で活動する団体が行う事業に協力し、地域を一緒に盛り上げていきます。 ● 芸術文化にとらわれず、福祉（「ノーマライゼーション事業」）、子育て支援、高齢者支援など異なる分野へのアプローチも積極的に行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「いそご文化資源発掘隊」パンフレットの作成。文化資源発掘、及び活用事業を年間 5 回以上実施。
---	---

(4) 市民ネットワーク形成・まちづくり

[取り組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● 「杉劇×せんせいミーティング」、「フレンドシップコンサート」を通し、学校連携を深めます。「杉劇×せんせいミーティング」では、直接現場の先生方と交流し、地域の情報交換を行うと共に、学校と杉田劇場の関係を強化します。 ● 磯子区区民利用施設連絡会を通して図書館やスポーツセンターなど、今まで連携のなかった区内の施設と連携・協働事業を行います。 ● 杉田劇場と地域とのつながり、「杉劇リコーダーズ」から派生した区外とのつながりを継続します。そのつながりや活動を区内外に発信します。 ● 「なつまつり」や「ふゆまつり」など、地域の様々な人々、団体が出会う場を通し、コミュニティーの形成や活性化を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「杉劇×せんせいミーティング」による事業実施 年 3 回以上。また、現場の声を次の事業へ活かせるよう情報を収集していきます。 ■ 区内他施設との連携事業を年間 1 回以上実施。 ■ 区民との協働事業、区民が提案し企画運営を行う事業を年間 5 回以上実施。 ■ 地域協働事業や区外との連携事業をホームページ、通信、館内掲示にて発信。

3 施設の運営に関する事業計画

(1)開館営業

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ●開館日・休館日 施設の安全維持と衛生管理のため、年間 20 日間ほどの施設点検を実施し休館日とします。それ以外は、開館営業日とします。 ●利用時間 午前 9 時から午後 10 時を基本開館時間とし、それ以外の時間の施設利用希望があった場合、柔軟に対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■開館日数 346 日 ■稼働率 ホール 75%(日)65%(コマ) ギャラリー 95% リハーサル室 80% 会議室 60% 練習室 95% ■利用料金 目標額 21,800 千円

(2)来館者・利用者ニーズの把握

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ間での情報交換・情報共有を強化し、利用者、来館者の生の声を把握し、施設運営にフィードバックします。 ●「杉劇の声 BOX(ご要望箱)」を設置しお客様のご要望の声をあつめ、現場対応から生まれた意見とともに、業務改善策を検討・分析します。また、お客様への回答方法も検討し、適切に回答していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「杉劇の声 BOX(ご要望箱)」の設置。 ■「杉劇こんしえるじゅ」と「地域文化コーディネーター」との情報交換。スタッフ内の「目安箱」設置。

(3)区民をもてなす接客

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ●「地域文化コーディネーター」、「杉劇こんしえるじゅ」等、職員のお客様との対応について、迅速で丁寧な対応が行なえるよう、各種研修を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■防災訓練 年 2 回実施。 ■接遇研修 年間 2 回以上実施。 ■新マニュアルの作成・運用。

(4)新利用料金の設定について

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ●22 年度の検討を基に、練習室の料金改定を行い、施設の仕様にあった利用の促進と、実態にあった料金徴収を行えるようにします。 ●利用内容の検討を基に、利用者がより利用しやすい、ホール利附帯設備セット料金の種類を増やします。 ●利用者の要望に合わせ、附帯設備利用料の新設定を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■所管の磯子区地域振興課に利用料金改定の相談、申請を行います。

(5) 情報コーナーの活用について

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● ギャラリーの壁面に展示できない立体的な作品や個人の制作物で展示したいという区民ニーズを受け「杉劇一坪ギャラリー」を開始し、地域の人々の活動支援や、情報コーナーのにぎわいにつなげます。 ● 杉田劇場の情報、磯子区内施設連携の情報コーナー「いそっぴらつく」、スポンサー企業コーナーなど、情報発信コーナーの整備を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民のニーズを反映した「杉劇一坪ギャラリー」の運営マニュアル作成、ギャラリーの開始。 ■ 杉劇コーナー(年 12 回の情報更新) ■ 地域の情報発信コーナー「いそっぴらつく」(年 12 回の情報更新)

4 施設の管理に関する事業計画

(1) 保守・修繕について

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● 開館 7 年目を迎え、直近の中小規模の修繕に着手し、22 年度中に計画した、中長期の修繕計画に基づき、修繕・保守等を実施します。 ● 予防保全に基づく保守点検の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設備機器の中長期修繕計画の更新。 ■ 予防保全に基づく保守点検の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・年間保守計画の作成 (年 1 回) ・月間業務計画の立案 (年 12 回) ・建物管理専門スタッフによる巡回設備点検 (年 12 回) ・月次報告書の作成 (年 12 回) ■ 清掃インスペクション(検査)の実施 (年 4 回)

(2) 運営組織について

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ● 館長、副館長を中心に、受付業務・チケットセンター業務・広報業務・環境改善業務を行う「杉劇こんしえるじゅ」、事業運営・地域ネットワーク窓口「地域文化コーディネーター」それぞれが、連携をはかりながら個々に自覚を持って役割を果たします。 ● 共同事業体の舞台技術を行う「有限会社アイコニクス」設備管理を行う「株式会社東急コミュニティ」と情報を共有しながら業務改善に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報共有のための連絡会を毎週実施。うち月 1 回を業務改善や事業検討の場とする。 ■ 3 社による業務改善会議の実施。

(3)管理組合等とのネットワーク構築

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ●相互案内や危機管理体制が出来るように、らびすた新杉田管理組合や近隣商店街、近隣地域施設などと連携します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「らびすた新杉田店長会議」への出席 (年 12 回) ■「区民利用施設館長会議」への出席 (不定期) ■「杉劇×せんせい☆ミーティング」(不定期) ■地元消防署、警察署との連携強化

5 その他の計画

(1)「杉田劇場と歩む区民の会」との連携

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ●「杉田劇場と歩む区民の会」(以下「区民の会」)が行う事業への協力だけでなく、協働で行う事業などを展開し、連携を深めるとともに、さらなるネットワーク拡大に向け、地域の様々な場面で地域の人々とのつながりを拡大していきます。 ●区民とともに歩む施設として、区民の会運営の方向性をさらに確立していくため、区民の会での検討を進め、杉田劇場の方向性について磯子区とも意見交換をしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■区民の会との協働事業 3 事業 ■区民の会の運営検討会(会議) 月 1 回 ■磯子区との意見交換 4 回

(2)エコロジーの取り組み

[取組み内容]	[達成指標]
<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市が今後策定する、これまでの「CO-DO30 横浜市脱温暖化行動方針」を礎とする新たな計画に基づき、磯子区とも連携し、エコロジー活動に取り組みます。 ●職員をはじめ、来館者・利用者への省エネ、環境コスト削減への意識改革をはかる「すぎげきエコ」を行います。 ●日常業務で使用する消耗品は、再利用製品や省資源・低公害製品を積極的に導入していきます。 ●「エネルギー管理士」若しくは「エネルギー管理員」によるエネルギー使用量の分析を行い、提案を受け、省エネを実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「すぎげきエコ」活動の実施。事業でのエコキャンペーンの開催(年 2 回) ■省エネ、環境コスト削減への改革提示 (10 箇所) ■消耗品の再生品、省資源製品、低公害製品の購入(10 品目) ■エネルギー使用量の記録、分析(適宜)

(3)友の会運営

[取組み内容]	[達成指標]
●杉田劇場オリジナルの友の会組織「杉田劇場スマイルクラブ」の継続と会員獲得に努めます。	■登録会員数の5%増加。 (200名→210名)

(4)メールマガジン運営

[取組み内容]	[達成指標]
●「ひよこメール」(小さいお子様でも楽しめる催し物情報を配信)、「メルがま」(杉田劇場の各種芸術文化情報を配信)を運営し、ニーズに合わせて、各メールリストを有効に活用し、情報の提供とチケットの販売促進につなげます。	■ひよこメール会員:登録会員数5%増加 (登録アドレス320→335) ■メルがま会員:登録会員数5%増加 (登録アドレス460→480)

(5)企業協賛

[取組み内容]	[達成指標]
●杉田劇場の協賛・支援窓口となる「スマイルファンド」を継続し、協賛金だけでなく地域からのご支援(現物協賛)獲得に努めます。	■スマイルファンド強化 (協賛金・現物協賛含め1,000千円以上)

6 収支について

(1)経営方針について

[取組み内容]	[達成指標]
●収益構造の改善を区民のために再投資する循環型経営を目指します。	■利用料金収入の拡大 施設の稼働率の向上と利用料金収入の拡大(利用料金収入 21,800千円) ■その他収入の拡大 助成金・協賛金 (各種助成金2,500千円以上) スマイルファンド (協賛金・現物協賛含め1,000千円以上) ■管理費・事務費の削減(0.5パーセント削減)

(2)収支予算書

項目	予算額(千円)
収入	
利用料金収入	21,800
自主事業収入	4,070
その他収入	2,955
指定管理料	122,350
合計	151,175

支出	
人件費	69,000
管理費	68,450
事務費	8,061
文化事業費	5,664
合計	151,175

収差差額	0
------	---